

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2023年5月号(第170号)

発行責任者 中原 幹男



2023・4・9 於:所沢中央公民館

写真提供: 梅津 博紀氏



文芸講座の案内

事業部長 松尾 基昭

今年度文芸講座は世界最古の長編小説「源氏物語」を取り上げます。

今回のテーマに関し、講師の方からは光源氏と関係する3女性と作者にゆかりの紫の系譜から紫の根幹を味わうとの説明がありました。

何やら謎めいた興味深い話に今から期待が膨らんでいます。

これを機会に古典文学の世界を学んでみませんか。皆さんの奮っての参加をお待ちしております。

(講座内容)

1. 講座名 「源氏物語」～紫につながる女性たち～
2. 講師 宮川 葉子 (元淑徳大学教授)
3. 日時 2023年6月29日(木)、7月6日(木)
受付 13:30 講座 14:00～16:00
4. 会場 新所沢公民館ホール
5. 参加費 会員 1000円・一般 1500円

なお、会員の申し込みは各サークル理事にお願いします。

(講師コメント)

『源氏物語』の別名は「紫の物語」。光源氏最愛の紫上(むらさきのうえ)、光源氏の不倫相手継母藤壺(ふじつぼ)、光源氏が晩年に迎えた幼妻女三ノ宮(おんなさんのみや)の3女性を描いているからです。女三宮にパールの色彩名は付いていませんが、藤壺の姪の彼女は、紫の系譜です。これに作者紫式部を加えると、全員「紫」に彩られ「紫につながる」のは明白で、『源氏物語』の根幹には、この系譜が横たわるのです。2回の講演を通じ、紫の根幹を味わいたいと考えています。



VS.



光源氏

紫式部

Let's sing & dance に参加して



♪♪ 大熊 和子 (所沢の自然と農業)

4月9日(日)中央公民館で開催されました。

第一部は亀井陽二氏のご指導で子どもの頃に歌った朧月夜、茶摘み、背比べ、みかんの花咲く丘、バラが咲いた、他6曲其々が鮮明に思い出されて懐かしく童心に帰って歌い、コロナ禍でふさいでいた心にバラが咲いたようでした。こんなに美しい叙情歌を今の小学生は学校で教わらないという・・・

又、新井満が歌う「この街で」は桂綾子さんの作品で「恋をして結婚し母になったこの街でおばあちゃんになりたい」この言葉から曲が生まれて人生の愛を歌った、あたたかいこの歌は心に残りました。これからも歌い続けたいです。

第二部はチアダンス体験で、舞台と客席が1つになって盛り上がり、興味があつたので参加出来て良かったです。歌とダンスは人の心を素直な気持ちにさせてくれて、エネルギーが湧いてくるようです。楽しい1日をありがとうございました。

♪♪ 安田 好子 (脳活サークル)

さあ皆さん一緒に歌って踊りましょう！のタイトルそのまま、開始と同時に亀井陽二氏の丁寧且つユーモアあふれる司会と歌の解説、亀井美奈子氏の息の合ったピアノ伴奏、ところざわ倶楽部の楽悠クラブとラルゴの皆さんと来場者が一体となって醸し出す歌声は参加した方々の心の奥深くまで届いたことでしょう！

子供の頃、学生時代、青春時代に口ずさんだ歌は不思議と覚えていますね。また、歌えば瞬時にその時々的情景が浮かんできます。懐かしい歌は「心の故郷」ですね。

チアダンス体操は動きが活発でしたが、「スマイルパイレーツ」の方の上手な指導のお陰で4グループに分かれた発表は甲乙つけがたい出来栄でした。そして音楽に乗って踊る姿は歓喜に満ち溢れていました。参加型行事に満足しました～

♪♪ 森井 茂吉 (アジア研究会、楽悠、他)

春の陽射しを体いっぱい感じられたところざわ倶楽部16期幕開の《歌と踊りを一緒に楽しみましょう》、出席された皆様楽しい時間を過ごされた事と思います。

第一部亀井先生の歌の部では、子供の頃の唱歌と青春時代耳にした歌、ほぼ70年を越えた我等幼き頃の思い出、そして恋こがれ胸いっぱいの幸せや、辛かった事諸々思い出された方もあったでしょう。

亀井先生の選曲と自然な話し方が良かったのでしょうか。歌った後、自分を含め気持ち良く第二部ダンスに移れたようです。又スマイルパイレーツの皆さんご苦労様でした。何時もの様に元気で練習の成果を発揮されていました。それにならい私達も参加しましたが自分は上手く出来ず残念でした。

そして最後の組の中に亀井先生夫婦も出演され、とても自然で音楽のスピードにも合いたまげました。自然のリズムに体が合っているんですね、羨ましいかぎりでした。自分も体力を落とさぬ様心掛けようと思います。

最後にこの催しを企画された皆様ご苦労様でした。御礼申し上げます。



《 お茶摘み 》

ボランティア パートⅢ

所沢の自然と農業 浪間 扶美子

今年も茶工房、政貴増田園の茶摘みは多くの参加者を得て終わりました。

茶摘みの日程は1週間位前に決まります。今年は寒暖差が激しく、天気予報と新芽の成長の見極めに苦慮していた社長は、4月24日(月)27日(木)と決めました。

実施日まで1週間足らずです。即サークルや他の協力サークル、関係ファームにメールや電話で連絡。申し込みを受けて参加者名簿を作成。変更の有無、お弁当の確認等当日朝まで行いました。代表や各リーダーの絶大な協力で3回目になると順調でした。



去年は2回目という「狎れ(なれ)」が出たのか、摘み方の悪かった2籠の茶葉を選別し直しました。

私たちが摘んだ茶葉は一定量になると時を経ず製茶機に掛けられ、埼玉県有機特別栽培農産物に認証された「八十八夜新茶」に加工されます。

「全国新茶品評会」にはこの茶の中から選び出されて出品されます。

社長が全精力を懸けている茶作りの一端を私たちは担っているという自覚をもって、皆真剣に取り組みました。お陰で茶葉を摘んでいる間を回って監督している社長の褒めているのか、おだてているかの言葉が聞かれ安心しました。

24日は所沢駅東口入り口交差点傍の畑に集合。社長は段ボールに書いた絵で初参加の人達に説明です。

この畑は3分の1位が手摘みの木で背丈が高く、残りは機会摘みと手摘み併用の木で背丈は低いです。この日は手摘みの木の方に其々の立ち位置が指示され作業に入りました。

初日はあいにくの曇り空で気温も低く肌寒く「指がかじかんでしまう」や立ちっぱなしなので「腰が痛い」という声が聞かれました。

午後は店前の畑に移動、少し陽がさし始め「茶摘み日和」とホッとしました。店前の茶木は全部手摘みの木です。

茶葉は「一芯二葉」で摘みますが、今年は育ち過ぎか「二葉と三葉」の間が伸びているので「一芯一葉」で摘む芽が多く楽に摘めました。



27日は陽が眩しい「茶摘み日和」でした。店に集合し店前の畑で初参加の人達に説明が終わると作業開始です。参加者の摘み方が上達したのか早く摘み終わり、駅入り口の畑に移動。ここでは機械摘みした後に出て新芽を1芽残らず摘むよう指示されました。

この茶木は背丈が低い為、「腰が痛い」が頻発。ベテランさんが足を広げて踏ん張るような体勢が良いと教えてくれました。

今年の初参加は10名でした。最初は一芯二葉の見極めが難しかったが徐々に慣れて来て、手早く摘むことが出来てきたかなと・・・新芽は艶々して柔らかくそれでいて摘むとポキッと音がしてなんとも愛らしい、又それがとても面白く楽しかった、社長の想いを胸に立派で綺麗な茶葉を1つ1つ丁寧に摘ませて頂いたので沢山摘めなかった、この茶葉がどんなに美味しいお茶になるのか楽しみで腰の痛いのもなんのその、良い経験をさせて頂いて来年も是非参加させて頂こうと思っています、等の感想を頂きました。

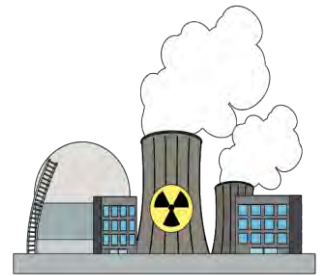
環境問題シリーズ 第29章

<原発>は、いずれ消えてなくなる

脱炭素の主役は<再エネ>となる

地球環境に学ぶサークル 中原 幹男

昨年 12 月 22 日、政府が GX（グリーントランスフォーメーション*注 1）実現に向けた基本方針（今後 10 年を見据えたロードマップ）を明らかにしました。その中にエネルギーの安定供給確保を名目に、原子力の活用を盛り込んだのです。それを肯定的に捉えて報道したマスコミも多く、巷に原発やむなしのムードが一気に広まりました。反発も大きかったため、その後、短い期間にパブリックコメントを募集したところ、原発に反対する市民から説明会の要請が噴き出し、あわてた経産省は 10 か所の地方部局で、急遽形だけの説明会を設けたのでした。



昨年 12 月 26 日、毎日新聞朝刊「風知草～脱炭素の主役は誰か～」で、山田孝男特別編集委員は、政府のこの基本方針を冷静に分析しているので紹介します。（以下、記事引用）

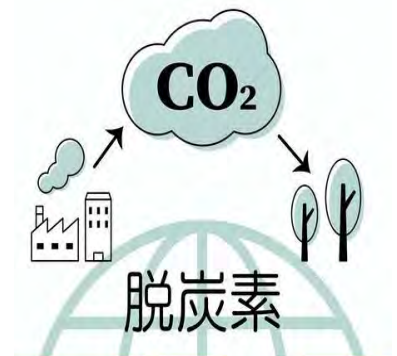
＝かねて原発新增設は「想定していない」と説明してきた政府が、今回の基本方針に「開発・建設に取り組む」と書き込んだ。脱原発メディアは「反省なき変節」を批判。原発推進メディアは「現実的な選択」を歓迎。ニュースは問題だらけの原発中心で、（他の電源に比べ）実情以上に大きく見えた。

しかし、新增設はできまい。政府が期待する次世代原発のうち、唯一、現実味があると思われる「革新軽水炉」さえ難しい。革新軽水炉とは、炉心溶融対策を施した改良型原発のことだが、完全な安全対策というものはない——というのが 3・11 原発事故の教訓だろう。＜革新＞を信じて新規立地を受け入れる自治体があるか。

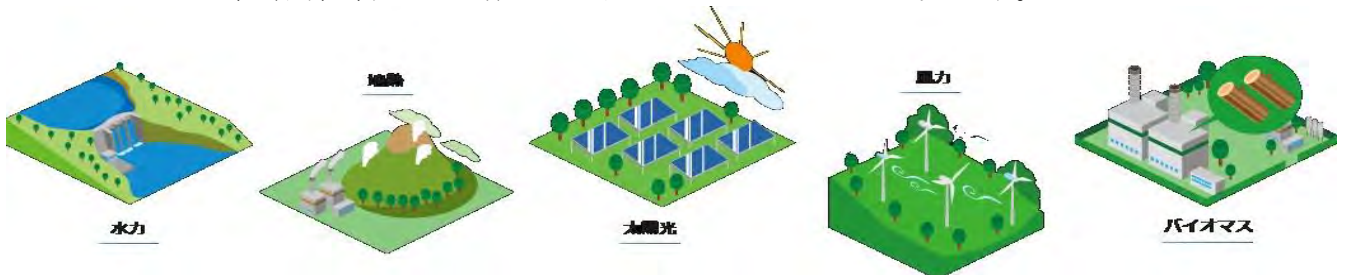
建設費も、かつての標準 4,400 億円が今や 1 兆円超。既存原発を壊して建て替えるにしても、廃炉に時間がかかる。革新軽水炉以外の次世代型原発が＜絵に描いた餅＞であることは公然の秘密である。

では、新增設も建て替えもなければどうなるか。既存の 36 基（他に廃炉決定が 24 基。36 基のうち 10 基が現在稼働中）で賄うしかない。36 基すべて原子力規制委の審査に適合し、地元が同意し、運転期限も 40 年から 60 年に延長したとする。それでも 2060 年に残るのは 8 基。後は消えるだけ。つまるところ、原発は＜持続不可能な＞エネルギーである。＝

つまり、運転期限を 60 年に延長したとしても、既存の 36 基が順次期限に到達してしまうということです。冷静に時系列的にながめれば、消えゆく原発であり、廃棄物処理も確立できず、夢の核燃料サイクルも膨大な予算を無駄に使うばかりで、3.11 福島原発事故以降も原発廃止決断を先送りしている政治は、早急に見直すべきです。



脱炭素の主役は消えゆく原発ではなく、再エネです。我が国のエネルギーは、再エネで十分賄えることをいくつかの民間シンクタンクが試算しています。食料とともにエネルギーの安全保障がこれほど問題になっているときこそ、即刻、原発からの撤退を決断しなければならないと考えます。



*注 1 GX とは＝温室効果ガスの排出原因となっている化石燃料などから脱炭素ガスや太陽光・風力発電といった再生可能エネルギーに転換して、経済社会システム全体の変革を目指すこと。

「世界の平和を考える」シリーズ 第19回

世界の食料危機は救えるか！（その2 日本の食料危機）

玉上 佳彦

G7での農業問題

5月のG7広島サミットに先駆けて、4月22日に宮崎市でG7農相会合が開催された。共同声明では、「農業の生産性向上と環境に配慮した持続可能な農業の実現の両立に連携して取り組むとし、ウクライナ危機や気候変動が食料供給の不安定化を招いていると指摘。課題解決に向け、既存の国内資源を有効活用して生産性を高める方法で農業・食料システムの持続可能性を迅速に向上させることが重要だと明記した。」

しかしながら、美辞麗句が並べられてはいるが、日本以外のG7諸国の食料自給率は、アメリカ、カナダ、フランスなどの農業大国が多く、日本の自給率37%のような自国の食料安全保障の問題を抱えている国はほとんどない。従って、日本を除いてG7諸国の優位性を表明しているだけである。

世界の食料危機 [Made by ChatGPT]

食料危機とは、世界中の人々が適切な栄養を得ることができない状態を指し、この問題は、世界中で多くの人々が貧困や紛争により食料にアクセスできないため、または気候変動や自然災害により農作物の生産が低下しているために発生している。この問題を解決するためには、以下のようなアプローチが必要といわれている。

1. 農業生産の改善：高い収量の栽培品種の導入、適切な灌漑施設や肥料の提供、天候予測技術の利用、農業の持続可能性の促進など、生産性を向上させるために必要な施策を推進することが必要。
2. 食料支援の拡大：食料支援は、貧困や紛争などの要因により食料にアクセスできない人々にとって必要不可欠であり、国際機関やNGOなどが支援を行っているが、その規模を拡大することが求められる。
3. 栄養改善の促進：栄養失調は、飢餓だけでなく、肥満や健康問題の原因を伴う。栄養改善のためには、多様な食品の提供や栄養教育、医療施設の整備などが必要とされている。
4. 気候変動対策：気候変動は農業生産に大きな影響を与えており、温暖化による異常気象や水不足などの影響に対応するために、温室効果ガスの削減や持続可能な農業の推進が必要。

これらのアプローチを総合的に取り組むことが、世界の食料危機の解決につながると考えられている。

日本の食料危機

37%という極めて低い日本の食料自給率を改善する方策はあるのだろうか？ 日本政府は、軍事的な安全保障や、経済安保に注力して、食料安保にはほとんど目を向けていなかった。食料は外国から安いものを輸入すればよいという考え方が主流となり、国内の生産を軽視してきた。耕作放棄地が拡大し、採算のとれない農業、酪農業を衰退させてきたのである。その典型的な例が、コメ減反策やバター不足による酪農危機にあらわれている。政府や農水省はその失政の結果が今の状況であることを認めようとしな

今や、国内で必要な食料を自給することは不可能に近い。以下に、日本の食料自給率の向上が無理であるいくつかのリスクを列挙したい。

日本の食料危機のリスク要因

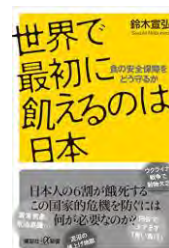
- ・ウクライナ戦争にみられる国際紛争下でのサプライチェーンの破綻
- ・日本の国力低下に伴う、中国による買い負け
- ・高齢化とコロナショックによる人材不足
- ・異常気象による食料生産の縮小
- ・アメリカなどの多国籍企業の戦略（種、添加物、農薬）

将来の日本の食卓は

将来的に食料輸出国が禁輸した場合の農水省の試算は添付画像の通り。日本人はさつまいもを中心とした食事で我慢せざるを得ないという。このような現実を皆さんは容認できるでしょうか。最早手遅れかも知れないが、私達は今こそ、根本的な食料危機への対策を考えていくべき時期に来ていると思う。

参考資料：

- ・鈴木宣浩：「農業消滅」（平凡社新書）2021年7月
- ・阮蔚：「世界食糧危機」（日経プレミアシリーズ）2022年9月
- ・鈴木宣浩：「世界で最初に飢えるのは日本」（講談社+α新書）2022年11月
- ・堤未果：「ルポ 食が壊れる」（文春新書）2022年12月



サークル活動報告

4 月総会

脳活サークル 幹事

コロナ感染症が収束し、日常生活も戻ってきた 2023 年度総会、今期のサークル計画を如何に活気あるものにするのか全員で話し合うことを最優先にする位置づけで行いました。会員から新たに提案された項目として、東京駅八重洲口にできた「東京ミッドタウン」見学、大泉学園前駅の近くにある朝ドラの「牧野富太郎記念館」、所沢にできた「若手落語家会」の落語を聞くこと、何年振りかで「歌声喫茶（新宿）」に行くことなどが提案されました。これらは従来通りの定番の例会項目である「認知症の講演会」、「フラワーアレンジメント」、「音楽療法」、「稲荷山公園のバーベキュー」などに追加されました。又、室内定例会の最後には、CD による懐かしい曲を全員で合唱することを基本としました。総会の最後に脳活クイズを実施しましたが、認知症のもっとも少ない県は何処でしょうかというのが

ありましたが、その県は、カラオケ喫茶が多いこと、グランドゴルフが盛んなこと、日帰り温泉施設（自由に話ができる）が多いことなどが挙げられていました。さてどこでしょう？入会されたら教えます。



食の問題を考える活動を！

食を通して所沢を知る会 玉上 佳彦

食を通して所沢を知る会（通称：食トコ）」は、活発な女性を中心のサークルのため、活動内容があまり知られていないかと思います。数少ない遠慮深い男性陣（私も含めて）は、常に元気な女性会員に圧倒されています。

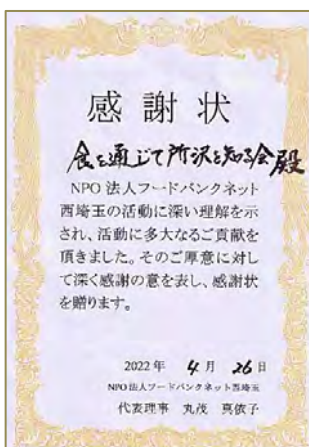
食トコは、いつも美味しいものを食べに行っているだけの会だと思われていますが、それは大きな誤解です。たまには、話題になっている美味しい食事を楽しむこともあります。私達は、現在の日本の食に関わる諸問題を真剣に考えているサークルです。主な活動

来の食文化を考える活動を進めてきました。

今年度の活動予定として、以下のような活動を予定しています。

- ・日本の食糧危機と次世代の食生活についての勉強会
- ・災害時の食事について考える
- ・無農薬野菜や茶作りの講演会
- ・遺伝子組換え食品に関する問題点

食に関してご興味のある方は、会員としてではなくまずは見学者としてご参加下さい。



としては、フードバンクの支援活動、食に関する会員同士による勉強会、専門家を呼んでの講演会、話題の食材を使っでの調理実習・試食会など幅広い活動を行っています。例えば、大豆ミートを使った食品の調理、フライパンでのパエリアの調理、昆虫食の試食会など、将



サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

5月17日(水)13:00～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
大川建樹会員による「インドネシア共和国」紹介
6月21日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
テーマ：未定

2. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

5月9日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9学習室
モーツァルト歌劇「魔笛」ミラノ・スカラ座
ローランド・ベア指揮
6月13日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9学習室
「ジャズ&ポピュラーなどを楽しむ」

3. 食を通して所沢を知る会 (岡部 まさ子 080-5872-1868)

6月6日(火) 10:00～12:00 ふらっと
「オギノエンファームの取組」 オギノ氏より
※日本の農業政策の問題点、オギノエンファームの目指している
もの等についてお話頂きます。
6月27日(火) 10:00～12:00 保健センター
テーマ：災害食について

4. 地球環境に学ぶ (小田原 一博 080-6537-2670)

5月16日(火)10:00～12:00 黄林閣、安永英二郎氏講演会
5月23日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館、月例会
環境討論:2030年までにCO2半減には何をすべきか他
5月25日(木)10:00～12:00、新所沢東公民館、読書会
22世紀の民主主義:成田悠輔著 第2回

5. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

5月17日(水)13:15～15:00 中央公民館1階 学習室3号
6月14日(水)13:15～15:00 中央公民館1階 学習室3号
定例会 テーマ「私たちの2025年問題」—最近の話題から—
〈SPチアダンス練習日〉 見学大歓迎！
5月13日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室
5月27日(土)14開場 新所沢公民館ホール「緑町寄席」に出演

6. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 090-5530-4703)

5月11日(木)13:00～15:00 定例会 新所沢公民館3号室
5月16日(火)10:00～12:00 黄林閣 「黄林閣ボランティア100回
記念講演会、昼食会」 講師：松永英二郎氏(松永安左エ門氏孫)
5月19日(金) 狭山丘陵自然観察会。(案内：トトロ財団担当)
5月26日(金) 黄林閣ボランティア
5月27日(土) トトロ21号地保全活動。

7. 野老澤の歴史をたのしむ会 (栗屋 貴夫 090-2746-9840)

5月11日(木)9:40～14:30 「国分寺と東山道武蔵路」歴史探訪
9:40「JR新秋津駅」集合
5月25日(木)9:30～14:00 「お茶摘みと手揉み茶を楽しむ」
9:30「下山口駅」集合
6月1日(木)「八幡神社とお茶の神様」詳細未定

8. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

5月13(土)9:00～11:00 中央公民館学習者3号
① 台本作り作業、②「恋の骨折り損」朗読続き
5月27日(土)、6月10日(土)、6月24日(土)
時間・場所・事項とも上記に同じ。

9. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

5月9日(火)10:00～12:30 西新井町会館
邦画「トラック野郎-度胸一番星」菅原・愛川 '77年東映
5月23日(火)10:00～12:30 西新井町会館
洋画「トップガン-マーヴェリック」トム・クルーズ '22米
イベント 季節の歳時記 端午の節句 期待しましょう!!

10. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

5月22日(月)13:30分～ こどもと福祉の未来館
ボランティア室1・2号
「ハーモニカ演奏鑑賞」演奏者：飯田郁夫氏 及び
「みんなで歌う会」担当会員：大湊和夫氏
6月26日(月)13:30分～ こどもと福祉の未来館 多目的室3号
自作花器で「フラワーアレンジメント」講師：安田好子氏

11. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

5月15日(月) 新所沢東公民館 研修室1号
「アンケート結果と当選者について」ほかに各グループ報告
6月19日(月) 6月テーマは5月例会で検討

12. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

5月19日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館
多目的室4号(3階) 定例会
「ところざわ倶楽部まつり」へ参加オリジナル作品(楽しい話と
挿入絵・音楽)2編に挑戦します！
物語名は「車返しの弥陀」と「鳳凰と海老」
6月16日(金) こどもと福祉の未来館 定例会

13. ITサロン(ところざわ倶楽部) (玉上 佳彦 090-2497-1076)

5月9日(火)13:00～16:00 パソコン相談会
新所沢公民館 学習室5号
5月26日(金)13:00～16:00 パソコン相談会
新所沢公民館 学習室5号
6月14日(水)と6月30日(金)に予定

理事会報告 4月10日(月) 第5回理事会が開催されました。

5月、6月の理事会予定

5月15日(月) 10:00～12:00 新所沢東公民館 講堂
6月12日(月) 10:00～12:00 新所沢東公民館 講堂

7月以降も理事会開催場所は新所沢東公民館1階講堂の予定です
本年7月～来年3月迄、建屋外付けエレベーター設置工事で駐車
場が手狭になる為、体育館駐車場(有料)をご利用下さい。

みんなの広場 第51回

脳活サークル・民話の会
薄井 文子

大きな時代の変化を

駆け抜けて 今・・・



結婚して間もなく 25 歳になる時に、69 歳と 60 代半ばの夫の両親と同居する選択をしました。私は幼い時に父の両親と同居しており、高齢者との生活に慣れていて苦にならなかったからです。

しかし、幼い時の同居と嫁としての同居はちょっと違いました。明治生まれの姑は手ごわい相手でした。何でも節約一筋、小さな端切れも捨てません。糸くずすら 1 本も出ないのです。一方、嫁については、乳のでない嫁は食べるものも肩身が狭く、夫はいつまでも可愛い息子、嫁は楽をしてはいけません。水が滴る洗濯機は家の外に設置。おむつの洗濯で冬は手が凍り、しもやけで苦しみました。当時は何もわからず必死に努めました。

結局、寝たきり 1 年半、同居 3 年目でやさしい舅が亡くなり、ほぼ 10 年同居で姑も亡くなりました。お葬式はどちらも自宅で執り行いました。

ですが、舅姑との同居は悪いことばかりではありません。20 代で舅の寝たきりの介護体験。姑から白菜漬け、かまど炊きのお赤飯、梅干し漬け、座布団、敷布団、綿入れ半纏作り、障子の張替えを実践体験。姑の「死に化粧」も頼まれていました。友人からは、こんな嫁の話は初めて～と言われます。

姑亡き後、夫はまだ現役仕事人、自由度が高まり、末娘の中学校の PTA 会長や 4 市合併協議会委員、英語塾、所沢市民大学と企画委員も担当しました。今時、布団づくりなど、経験を生かすことも話す機会もないでしょう。

明治生まれの父母、そして上り坂の昭和、平成、令和と激動の世を見てきました。孫の世代、さらにその先も平穏な世界が続くことを祈るばかりです。

川柳〔八十四〕

課題「入園」

作品発表 選

中島 峯生

「自由題」

初孫の入園式はワシも行く
食べ放題おやじ頑張るいちご園
入園で社会に一步孫デビュー
入園児男親とのおうはしやぎ
入園で朝から並ぶ光芸
近づくとテープ警告牡丹園

突拍子
縄文人
りんご好き
詔笛
峯声
海さとり

カップ麺グルメ番組見て食べる
仲良くね幼稚園児か老夫婦
介護なし別行動は今のうち
ほどほどに体と勝負草耄り
駅ホーム楽しさ満ちた休み前
高齢者自覚してない同期会

縄文人
海さとり
りんご好き
詔笛
峯声
突拍子

次回(第85回) 課題「サクラ」そして「自由題」
締切り日：5月20日、担当中島まで、どなたでも
宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp、Fax 04-2928-1161・

編集後記

5月3日は憲法記念日だ。「広場」でも「世界平和シリーズ」が連載されているが、憲法学者 木村 草太氏の本を読み返し 9 条の意義について考えてみた。氏は 9 条について「個別的自衛権の行使」まで禁じてはいないと論じている。国連憲章 51 条でも認められており、憲法 13 条においても「生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利」により日本国は、国民の生命や安全を守る義務がある。但し、自衛権行使は「武力攻撃が発生していること」等厳格な制約条件がある。当要件を満たさない場合は「自衛のため」の名目であっても「戦争」行為であり、「9 条」および「国連憲章」上でも違法であると述べている。まさに、現状は「自衛」ではなく「戦争」の準備と言わざるを得ない。

以前、講演会で海外にも憲法 9 条の「記念碑」があると聞いたことがあり、ネットで調べてみた。スペイン領土のカナリア諸島、グラン・カナリア島にあるテルデ市に記念碑があり、白いタイルに、スペイン語で憲法 9 条が青い文字で焼き付けられているとのこと。「世界から軍隊をなくすための第一歩を日本が踏み出した」記念に建立したとのことだ。トルコ共和国のチャナッカレの町にも、憲法 9 条の記念碑があり、日本国内にも、現在 23 あるそうだ。

異国の地を思いつつ、ふと庭を見れば、薔薇のつばみが大きく膨らんで春の日差しを楽しんでいるようだ。世界の紛争が一日も早く解決し、穏やかな日常に戻りますように。
(記：川上)

